

大学の世界展開力強化事業（平成25年度採択）中間評価結果表

大 学 名	広島大学
整理番号	4
事 業 名	アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財教育プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p>本事業は、広島大学の基本理念に謳われている「平和を希求する精神」と「地域社会・国際社会との共存」に基づき、「食品科学と農学」、「工学」、「経済学」、「言語・文化研究」の分野の教育・研究資源を提供し、アジアの共同経済発展と信頼関係の確立による平和構築に貢献する中核人財を育成することを目的としており、理事（平和・国際担当）の下に全学組織として各専門分野及び国際センター等の教職員25名で構成した「AIMS-HU 実施部会」を設置して、順調に事業を推進している。</p> <p>AIMSプログラムにおける授業科目数は目標を大きく上回っており、「国際課題研究」科目を核として、国際キャリア教育や受入学生と地域住民との交流など付加価値の高いプログラムを提供している。また、成績管理や単位の相互認定など厳格に運用を行うことで、交流プログラムの質の保証が図られている。</p> <p>留学経験や海外での就業経験を持ち、高い英語力のあるプログラム専任職員を、コーディネーター及び部局支援職員として配置するとともに、受入学生全員に対しそれぞれ日本人学生のチューターが学修や生活の支援を行うなど、受入学生に対する支援体制も十分に整備されている。</p> <p>目標の達成状況については、受入学生数はやや数値目標を下回ったものの、派遣学生数は数値目標を達成しており、受入・派遣学生のGPA等については、一部基準に達しない学生がいるものの、おおむね目標を達成している。派遣学生の英語力スタンダードについては、目標とする割合に達していないが、派遣後のTOEICスコアの全体平均は、おおむね目標とする水準に達しており、これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが期待される。</p>